

**日本最大のインターネットホームセンターが大阪尼崎に登場!?**  
モノタロウ  
**MonotaR0の新物流センターが2月より本格稼動**

**収容キャパはこれまでの物流センターに比べ4倍の4万5000アイテム**

工業用間接資材<sup>1</sup> 通信販売最大手の株式会社モノタロウ（本社：大阪府大阪市中央区、代表執行役社長：瀬戸欣哉）は、当社の物流・営業部門を、国内でも最大規模と最新機能物流施設として注目されている「プロロジスパーク尼崎」3階に移転、これまでの4倍の在庫収容スペースとオリジナル物流システムを導入し、2月より本格稼動します。

当社は、各種製造工場や建築現場など、ものづくり企業を主ターゲットに、切削工具や補修・梱包・清掃資材といった多岐にわたる間接資材 80万アイテムを格安で提供する国内最大のインターネット通信販売会社で、2001年の営業開始以来、順調に業績拡大を続け、現在、約18万事業所の会員顧客を有し、年商90億円以上にまで達しています。このたびの物流センター移転は、当社の東証マザーズ市場上場（昨年12月）後初となる重要な資本運用として、事業の急伸長により急務となっていた当社物流機能の増強を目的に実施するものです。

この移転による当社物流機能の拡充により、これまでの約4倍の4万5000アイテム（最大5万アイテム）を在庫として収容できるようになります。

また、出荷ライン（集荷指示・ピッキング・検品・梱包など）の機能面においても、当社独自でシステムを開発し、50台以上のPCによる出荷管理や自動制御のコンベアライン、自動パッキングシステム導入などにより出荷効率と検品精度を格段に向上、出荷ラインもこれまでの2倍に増やして、現在の5000件/日の出荷ペースから、将来は1万件/日まで対応可能になります。

なお、物流センター移転に伴い、当社営業部門も同所に移転。各種商品取扱を決定する営業企画部、販売戦略を練るマーケティング部、全システムを設計・運用するITサービス部が常に物流センターと共にあることにより、現場に沿った、より効果的経営戦略の実現を目指します。



倉庫内に張り巡らされたコンベアライン

<sup>1</sup> 工業用間接資材とは、製造業の現場における資材のうち、最終製品になる原材料や部品などの“直接資材”を除く全ての資材を指し、切削工具や研磨剤などの工作用資材から梱包・補修・清掃・安全・事務用品まで多岐にわたる

## 「MonotaRO 新物流センター」概要

住所： 〒660-0857 兵庫県尼崎市西向島 231-2 プロロジスパーク尼崎 3F  
[オフィス]TEL：06-4869-7111 [倉庫]TEL：06-4869-7191  
面積： 約 24,000 平方メートル(うち事務所利用：1,700 平方メートル)  
在庫数： 45,000 アイテム (50,000 アイテムまで収容可能)  
出荷能力： 10,000 個/日  
入出庫バース：10 トントラック 30~40 台可能  
出荷レーン： 8 本

### 新物流センターの特長

#### 【物流機能について】

仕向地別、運送会社別自動仕分け機能により出荷効率が向上

バーコードによる自動制御により、商品の配送地域、運送会社ごとにパッキングレーンを自動で振り分けることができる

セル出荷方式により積み合わせ効率と精度が向上

検品・パッキングをセル単位で 1 度に行うことにより、作業待ち時間の発生をなくすることができる。また、人為的なテレコ出荷ミスなどを防ぐことができる。

自動梱包機の導入

商品をシュリンクパックして固定させるため、当社の多種多様な商品の詰め合わせにも対応できる。

ギガビットイーサ導入

光ケーブルを利用した構内 LAN を 7,500 坪の倉庫にはりめぐらすことにより、あらゆる物流機能のパフォーマンス向上を実現

セル単位のロケーション管理

商品毎の在庫数、商品サイズ等を考慮した最適なロケーション配置を管理。ピッキングロケに需要予測より 8 日分を配置し、残りはバックヤードに保管。週 1 回の補充作業を行う。

#### 【システム、スタッフ、施設等について】

当社の販売形態・物流のニーズに沿ってサポートする自社開発 WMS (倉庫管理システム)

雇用人数： 正社員 6 人、派遣・アルバイト・嘱託・委託 約 100 人

託児所： (設置予定・現在未稼働)

<このリリースに関する問合せ先>

株式会社 MonotaRO マーケティング部 西村

TEL：06-4869-7181 FAX：06-4869-7185

MonotaRO ホームページ <http://www.monotaro.com/>

## 会社概要

会 社 名: 株式会社 MonotaRO  
(MRO とは : Maintenance, Repair & Operation)

代 表 者 名: 代表執行役社長 瀬戸 欣哉

設 立 年 月 日: 2000 年 10 月 19 日

営 業 開 始 年 月 日: 2001 年 11 月 13 日

資 本 金: 16 億 7,532 万円

従 業 員 数: 134 名 (うち正社員 61 名)

主 な 事 業 内 容: インターネット等を利用した工場用間接資材の販売 (5 兆円市場)

主 な 顧 客 層: 製造業を中心とする全国約 18 万事業所  
(そのうち 9 割が 100 人以下の事業所)

本 社: 大阪府大阪市中央区安土町 2 丁目 3 番 13 号  
大阪国際ビルディング 3F

主 な 物 流 拠 点: 兵庫県尼崎市西向島町 231-2 プロロジス尼崎 3F

### 会社沿革

2000 年 10 月 住友商事と米国グレンジャー社の出資により設立  
事業主向けサイト「MonotaRO.com」オープン  
近畿地方・東海地方 40 社限定のテスト運営開始

2001 年 11 月 間接資材調達サイト全国展開。本格営業開始

2003 年 2 月 物流センター 2.5 倍に拡張(1,320 m<sup>2</sup> 3,300 m<sup>2</sup>)

2006 年 2 月 社名変更 (株式会社住商グレンジャー 株式会社 MonotaRO)

6 月 個人消費者向けサイト「IHC.MonotaRO」オープン

12 月 東証マザーズ上場  
モバイル個人消費者向けサイト「IHC.MonotaRO モバイル」オープン

2007 年 1 月 物流センター移転、事務所営業部隊移転  
(24,000 m<sup>2</sup>。うち 1,700 m<sup>2</sup>を事務所使用。管理部、コールセンターは本町に残留。)

株式会社 MonotaRO は、効率的な通信販売システムを使用することで無駄な営業コストを省き、安い価格で工具や消耗品などの資材を販売しております。当社は日本の経済を支えるため、従来の流通購入システム(大企業が安く購入できるが、中小企業は高値で購入)を改善すべく日々努力しています。また、従来の国内市場を中心とした商品の仕入れに加え、オリジナル商品や海外から安い価格の商品を輸入し販売する事で、低価格を実現しています。